

第39回 日本重症心身障害学会学術集会 公開ファッションショー・公開シンポジウム のお知らせ

学会HP：<http://www.procomu.jp/smid2013/gakkai.html>

このたび、第39回日本重症心身障害学会学術集会が平成25年9月26日（木）、27日（金）に栃木県総合文化センターで開催されるにあたり、下記の公開ファッションショー、公開シンポジウムを開催いたします。**参加は無料で、事前申し込みも不要**です。どなたでも参加できます。

多くのみなさまのご参加を希望いたします。**お待ちしております。**

◇公開ファッションショー

喜績織（きせきおり）×（作る人々+使う人々+それをとりまく人々）

=生かされる社会に向けて

障害者の方が織った服とモデルの障害者のコラボレーションです。

◇日時 平成25年9月26日（木） 18時30分～19時20分

◇場所 栃木県総合文化センター 小ホール（栃木県宇都宮市）

鈴木利子：手織り工房 のろぼっけ 主宰（栃木県壬生町）

喜績織（きせきおり）には、「自分の持って生まれた感力を自由に表現しよう、喜びを未来へつむごう」という思いを込めている。既成概念に縛られない人たちの感性の鋭さ、色彩感覚の豊かさが、機（はた）というキャンバスにいきいきと表現される。作品の放つエネルギーは、単なる織物という枠を超えて見る者の心を動かし、生かし生かされる社会へとつながっていくことを目指している。

「一人でも多くの方にぜひ見て頂きたいと思っております。ご来場をお待ちしております。」

2009年読売新聞主催「モノを大切に作る心 再生デザイン大賞」受賞

多屋淑子：日本女子大学 家政学部被服学科・大学院 人間生活研究科 教授

世界で初めて国際宇宙ステーションの中で宇宙飛行士が着る快適で長期間清潔を維持できる船内服を、JAXA（宇宙航空研究開発機構）と共同研究により開発。スペースシャトルミッションで、宇宙飛行士が実際に着用し、宇宙船内服の着心地の良さを確認。

チリの鉱山事故で閉じ込められた作業員に、宇宙飛行士用の清潔さの維持効果の高い下着を進呈し好評を得た。

宇宙船内服の技術を介護福祉分野に応用し、縫い目のない衣服等を国際福祉機器展で展示。

宇宙から介護福祉分野に至る様々な人の生活支援研究を進めている。

1996年 日本繊維機械学会 学会賞受賞、日本学術会議連携会員

◇公開シンポジウム

「地域生活重症心身障害児者本人、家族、きょうだいへの支援」

在宅の重症心身障害児は年々増加しているが、子どもたちとその家族をサポートする環境は不十分である。しかし、子どもたち・家族を支えようという取り組みが各地で起こり、広がっている。

このシンポジウムでは、子どもたち・家族のために活動を行っているシンポジストにその取り組みを紹介していただき、よりよい社会をどのように作っていったらよいのか考えてみたい。(座長より)

日時：平成25年9月27日(金) 15時00分～17時15分

場所：栃木県総合文化センター 大ホール(栃木県宇都宮市)

座長：小沢 浩 (東京都八王子市・島田療育センターはちおうじ神経小児科 医師)

◇高橋 昭彦 (宇都宮市・ひばりクリニック 特定非営利活動法人うりすん 医師)
医療的ケアが必要な子どもの日中レスパイトケア

◇鈴木亜矢子 (那須町・訪問看護ステーションりんりん 看護師)
家族で大切な時間を過ごすために

◇関根まき子 (東京都町田市・社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会花の郷 看護師)
通所施設に何を求めますか？ー花の郷で大切にしていることー

◇稲森絵美子 (東京医科大学病院 ・元自治医科大学小児科 臨床心理士)
重症心身障害をもつ子どもと家族とのコミュニケーション

連絡先

国際医療福祉大学内 国際医療福祉リハビリテーションセンター 佐藤節子
(電話 0287-20-5100、fax 0287-20-5121、e-mail:sssato@iuhw.ac.jp)

学会運営事務局

株式会社 プロコムインターナショナル

(電話 03-5520-8821、fax 03-5520-8820、e-mail:smid39@procomu.jp)

第39回日本重症心身障害学会学術集会

会長 下泉秀夫(国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園)